



フォレスターうじ 会報

第270号
令和3年8月1日発行
森林ボランティア
フォレスターうじ

ホームページ : <http://foresuta-uji.o.oo7.jp>

七月定例活動

憩の広場の記念植樹の整備・工具の棚卸し・

木工材料整理・森林公園の実態調査とゴミ拾い

活動日 七月十八日 (日) 晴れ後曇

活動時間 九時三十分～十五時

活動場所 天ヶ瀬森林公園

参加者 会員十五名

京都府立大学森なかま五名

昨日梅雨明けとなったが、蒸し暑い中での活動となった。

朝礼で深田会長よりコロナ感染防止、熱中症対策の話の後、今日の活動予定の説明があった。松川参与より安全について、マダニ・マムシに気を付けるよう呼びかけがあった。

午前中は憩の広場の記念植樹の桜と自生したユリノキ除伐と整備、工具の棚卸し、木工材料の整理の三班に分かれて作業した。

昼食時、先月の「森の音楽会」に出演した「シヤイニング☆スター」様より頂いたお菓子を、皆で美味しく頂いた。

午後は森林公園内の実態調査とゴミ拾いを、A班はモミジの道からツツジの道、B班はモミジの道から冒険の道に沿って、作業した。それとは別に木工材料整理の残作業を四名で行なった。

二時半に憩の広場に全員集合みんなで話し合いをし、十一月の研修会の昼食は千五百円位の弁当を先方をお願いすることになった。参加会費は会員千円、会員外二千円(弁当代は別)。二十五周年記念事業の三つの分科会のどれを希望するか、事務局より確認があり、欠席者には八月の活動日に確認する。八月定例活動の「森の木工体験会」に会員以外で参加される方は、材料費百円頂くことになった。

最後に今日参加の「森のなかま」から感想とお礼の言葉があり無事活動を終了した。

真夏日の蒸し暑い中ご苦勞様でした。

(記 久保井 英規)

天ヶ瀬森林公園内実態調査結果

イベント等で延期していた実態調査(森林浴とゴミ拾いを兼ねて)を七月十八日午後実施した。調査コースは京都大作戦の森横からモミジの道を野鳥観察小屋まで歩き、その後ツツジの道グループと冒険の道グループに分かれて沿道の様子をチェック。昨秋台風期の風害(倒木)や今梅雨期の豪雨による歩道の被害は全くなく、枯死した枝等の散乱もほとんどなく、歩行の妨げになるような箇所はなかった。

ただ、①冒険の道で大径木が倒れていて歩道の一部を塞いでいる所と、②ツツジの道で階段の横木を固定している番線が錆びて切れている所が二ヶ所あったが、何れも歩行に大きな支障がないため、秋以降に整備することとした。

【要整備場所の詳細は別紙のとおり】

(天ヶ瀬活動計画担当 深田 和夫)



7/18 20周年記念植樹の桜と自生したユリノキを残して下草刈り

七月臨時活動

太陽が丘 桜のひこばえ採取

活動日 七月十三日(火) 晴

活動時間 十三時半～十五時四十五分

活動場所 太陽が丘

参加者 会員六名

公園管理センター南に集合した。本日の目的は、八月に行なわれる「森の木工体験会」で製作予定の花台椅子の材料として、桜のひこばえを採取することである。

第三駐車場・第二競技場周辺、球技場A・球技場Bの間のひこばえを採取した。切り口には防腐剤を塗り、アクリルスプレーを処理した。これは、ふれあいの森の桜の手入れで、樹木医さんが行っていた方法である。遊びの森やふれあいの森にも採取に行きたかったが、夕立雲が近づいていたので、撤収することにした。採取した桜材を深田会長の車に積み込んだところ、荷台が一杯になった。十六時前に解散した。

太陽が丘宇治側ゲートを出たところで、自転車の木曾事務局長に追い抜かれ、その直後から雷が鳴り大粒の雨となり、家に着くと全身ずぶぬれであった。念願の桜材を採取することができました。参加の皆さん、暑い中お疲れ様でした。

(追記)

五月・六月の天ヶ瀬森林公園の活動で、二箇所の新防鹿柵内にドングリ類を植えた。その内数本が枯れた。これは、植え方と植える時期に問題があると思われる。通常落葉樹の植樹は、二月・三月頃の葉のない時に行なうのであるが、諸般の事業で遅れての活動となった。府立大「森なかま」の皆さんに次の時に説明したい。

(記 小林 清三郎)

エッセイ

マダニにご注意 !!

目黒 政信 (写真も)

六月の月曜日の朝、着替えの時、何気なく鏡の前に立って後ろを見たら、腰の所に豆粒程の黒い物がぶら下がっていた。手で触ってみると丸く柔らかいので、瞬間にマダニ!!と違って、朝一番に掛かり付けの病院に行き、取り除き適切に処置してもらい、血液検査の結果も異常なかったので安心した。

そこで、マダニが何処でどうして付着したのかいろいろ考えた。マダニに気が付いた日の前の週末は雨等で天候が悪く、殆んど家の中にいた。しかし、週の前半三日間は晴れて猛暑であったが、いつもの山の林の中の散歩に出掛けた。コースは団地内の家から朝日山に登り、大吉山を巡って帰って来る五千歩程のコースである。私が歩く山道は、団地脇からの登り口を除き、良く踏みしだかれた山道で、朝日観音のお参りや、大吉山からの山歩きの人々の山道である。

従って普段の散歩の山道では、マダニに取り付かれる心配はまず無い。しかし、気が付いた一週間前の月曜日の散歩では、大吉山で黒モジの木を見つけ、小枝を持ち帰って爪楊枝を造った。そして翌日も黒モジの木が無いのか、探しに脇の獣道に入ってしまった、どうもその時マダニに取り付かれたようだ。

しかしそれから約一週間、気付くまでの間が長かったので、マダニの行動をいろいろと考えた。私は散歩に何時も同じジーパンをはいている、入った所が藪と違い獣道だったため、マダニはまず私のジーパンの裾に取り



5mm位の大きさ(右下は爪楊枝)

付き、数日掛けて私の腰に辿り着いたのかと思う。そのジーパンは、散歩以外にはなかったもので、私の体に取り付くチャンス逃してしまっただけかもしれない。

それ以来、散歩の後はジーパンを強く振り、そして洗濯をこまめにするようにしている。

エッセイ

感想 (初めてフォレストうじの活動に参加して)

京都府立大学 森林ボランティア森なかま

岩本 七海

今回は天ヶ瀬森林公園内の森林整備などに参加させていただきました。

一日を通して天ヶ瀬森林公園内を歩き回りました。様々な樹木やきのこ、生き物を見ることができ、散歩や自然の好きな私にとってはとても楽しく有意義な時間となりました。現在、大学で樹種について学んでいることもあり、活動中に樹種を尋ねたりその他に気になることをたくさん質問したりさせていただきました。が、丁寧に教えてくださり嬉しかったです。二回生は樹種のテストを目前に控えていたこともあり、とても勉強になりました。私たちに色々教えてくださりありがとうございました。翌日にその樹種テストがありました。全力を尽くせましたと思います。

また、活動の中で木も少し切らせていただきました。いつも私たちがやっているやり方とは違いとても新鮮でした。鋸を使わせていただきましたが、まだまだ自分分は力不足だなあと感じました。森なかまの活動内でも間伐することがあるので、鋸には慣れておきたいと改めて思いました。

私自身は今回初めての参加となりましたが、勉強になることが多く、また色々歩けて楽しかったので、とても有意義な一日になりました。また参加したいと思えます。

今後の活動・行事の案内

令和三年九月以降の予定です。当月の定例活動の詳細は、当月の「活動案内」でお知らせします。

九月定例活動

九月十九日(日) 天ヶ瀬森林公園

・森林ボランティアの日

・樹木観察会と天ヶ瀬森林公園の森林整備

フォレストうじからのお報せ

天ヶ瀬森林公園で、地球温暖化防止の森林保全活動を体験しませんか。新しい仲間を募集中、まずは一日体験から参加して下さい。

入会金 千円 年会費 二千円

活動日 毎月第三日曜日

活動場所 天ヶ瀬森林公園

森林ボランティア「フォレストうじ」事務局

宇治市折居台二丁目一―五

木曾 宗統 方

TEL 〇九〇―九二七〇―〇七六三

編集後記

梅雨明け宣言直後の七月定例活動は、びっくりするような猛暑。森林公園でも次から次と汗が出てきて、人間は水でできていて、休憩のたびに座り込み、汗と土でズボンが真っ赤。声も出ないほど、体が前に進まないのではないかと思うほど、疲れた。でも、帰ってお風呂に入ったら、その疲れが飛んでしまっていた。夜はぐっすり眠ることができた。

(編集担当 木曾 宗統)

(写真担当 林 幸広)